

県北管内感染症ニュースレター

令和7年度 第9号

ノロウイルスによる胃腸炎に要注意！

空気が乾燥し、気温の低くなるこの時期は、**ノロウイルス**などによる**感染性胃腸炎**や**食中毒**が流行します。家庭内や学校、福祉・医療等の施設内での集団感染を防ぐため、嘔吐物や汚物の適切な処理方法等を確認しましょう

どんな症状？



- ・感染から発症までの時間は約 **24～48** 時間
- ・感染しても発症しない場合や、軽い風邪症状の場合もある
- ・嘔吐や下痢が続く場合、小さいお子さんや高齢な方、持病のある人は脱水に要注意！

どのように感染する？

<接触感染>

感染した人の**便**や**嘔吐物**に含まれるウイルスが、ドアノブや手すり、共有しているおもちゃ等につき、それが手についた後に口に入ってしまうことで感染。

<食品からの感染>

ウイルスが付着した食品やカキなどの二枚貝を十分に加熱せずに食べたことによる感染。

<飛沫感染、空気感染>

感染した人の嘔吐物に含まれる、“ウイルスを含んだ飛沫”または“空気中に舞ったウイルス”を吸い込むことで感染。

💡感染予防のポイント💡

<手洗い> ※最も重要

帰宅時、調理・食事の前、トイレの後、汚物処理後は、石けんと流水でしっかり手洗い！

※アルコール消毒は、ノロウイルスには有効ではありません。

石けんと流水での丁寧な手洗いが大切です！



<食品の衛生管理>

・**症状があるときは、食品を直接取り扱う作業をしない。**

<嘔吐物・汚物の適切な処理>

※二次感染を防ぐカギ

・感染性胃腸炎の原因となるウイルスの多くは乾燥すると空気中に舞い上がり、それを吸い込んで感染する場合があります。

そのため、処理は迅速かつ慎重に行いましょう。



【塩素系漂白剤(ハイター、ブリーチ等)を薄めた消毒液の作り方】

消毒する場所・物。	塩素系漂白剤を薄めた消毒液の濃度。	消毒液の作り方。	
		原液濃度が。	原液濃度が。
		5～6%。	1%。
嘔吐物や便の処理。	1000ppm。 (約0.1%)。	原液 10ml。	原液 10ml。
調理器具、	200ppm。	原液 10ml。	原液 10ml。
ドアノブ、衣服。	(約0.02%)。	水 2.5L。	水 500ml。

・二次感染を防ぐための嘔吐物・汚物の適切な処理方法△

1. 準備する物（処理セット）



アルコール消毒は、ノロウイルスには有効ではない

防護具	拭き取る物	消毒液	密閉できる物
<ul style="list-style-type: none"> ・使い捨ての手袋（2組） ・マスク ・エプロン（自分の洋服が汚れないようにできるもの） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパータオル（新聞紙又は不要な布） 	<ul style="list-style-type: none"> ・塩素系漂白剤を薄めたもの（商品例：ハイター、ブリーチ等） *床掃除用：濃度 1000ppm *衣類等消毒用：濃度 200ppm 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビニール袋（複数枚）

2. 処理の手順

(1) まずはじめに

- 窓を開けて処理場所の換気をする。周囲の人に近づかないように声をかける。
- 嘔吐物の上にペーパータオル等をかぶせ、乾燥を防ぎ、ウイルスの飛散を抑える。
- 濃度 1000ppm の塩素系漂白剤を薄めた消毒液を準備しておく。
- 処理を行う人は、手袋（二重に装着）、マスク、エプロンを必ず着用する。



(2) 処理と消毒

- ① 汚物へかぶせたペーパータオルの上から、濃度 1000ppm の消毒液を静かにかける。
- ② 汚物とペーパータオル全てを **外側から内側へ** 包み込むように静かに取り除き、拭き取る。
- ③ 汚物や使用済みのペーパータオルはすぐにビニール袋に入れる。ビニール袋は口をしっかりと縛る。
- ④ 汚染された床の消毒は、濃度 1000ppm の消毒液とペーパータオル等を使用して 10 分程度浸し拭き取ることで、可能。仕上げに水拭きをすると、変色・腐食の防止になる。

(3) 後処理

- ① 使用した手袋、マスク、エプロンなどを捨てる際も、ビニール袋に入れ **密閉し廃棄** する（普段使用しているゴミ箱へ捨てない）
※処理した際に出たゴミ袋は **袋を二重にして一般ごみとして処理** が可能。（ごみ処理業者さんの感染予防のため、袋は二重にしましょう）
- ② 処理が終わったら、石けんと流水で爪の間や手首までしっかり洗う。

(4) こんなときは・・・？

・衣類が汚れた場合：汚物をペーパータオルなどで除去後、**濃度 200ppm の塩素系漂白剤を薄めた消毒液に 30 分ほど浸し**、その後、他の洗濯物とは別に洗濯してください。

布団など洗濯ができないものは、よく乾かした後、スチームアイロンや布団乾燥機の使用が効果的。

～年末年始の大型連休～感染症にご注意ください！

< 基本的な感染対策と体調管理を心がけ、有意義にお過ごしください☆彡 >



十分な睡眠



バランスの良い食事



適度な運動



こまめな換気



咳エチケット



手洗い・手指消毒



KENPOKU.KANSEN

公式Instagramでも感染症に関する情報や HIV 等の検査日を発信しています！ぜひ、ご覧ください！

発行日：令和7年12月19日 発行元：福島県北保健所医療薬事課
住所 〒960-8012 福島市御山町8-30
電話 024-534-4108
ホームページ：検索キーワード

県北保健所

